



みどりの風



令和7年1月24日発行

節目を大事に、決意と目標をもって前進

校長 安藤 晋哉

令和7年、年明けは穏やかな天候に恵まれ、多くの方が初日の出を拝んだり、家族で出かけたりとよい雰囲気です。新年をスタートした方も多かったのではないのでしょうか。

さて、1月もうすぐ終わり、2月になります。暦の上での春、立春(2/3)もうすぐのところに来ています。多くの3年生は私立入試の真っ只中、その合格発表は立春の頃には分かっていると思います。本校の生徒は、例年3年生の約3分の2が国公立高校をめざしますので、今回の私立高校の結果をもとに自分の進路実現に向けて最後の仕上げをしていくことになります。新年度、4月からの新しい生活が期待と希望で膨らむよう、あと2ヵ月、体調を整えながら目標達成に向けて精一杯取り組んでください。ご家族の皆さん、目標達成が叶うようにサポートをお願いします。また、進路の決まった生徒はこれから第一志望校を受検する仲間のためによりよい雰囲気です。学習や生活ができるように協力してください。

さて、3学期始業式では、日本人の節目(区切り)を大切に感性から、新しい目標を考えて、取り組んでいこうという話をしました。

「昔から日本人は節目(区切り)を大切に感性があるといわれています。このことは、よく竹の節目に例えられます。

1年の始まりの元旦、誕生日、入学や卒業、成人式など、これらの節目を大切にしていきたいものです。

竹は、一本空に向けてまっすぐに伸びる植物です。その竹も節があることで強い風で揺れても簡単には倒れません。もし、節がなければ途中で折れてしまいますが、それぞれの節が揺れを吸収することで、竹は強い風にも負けずに伸びています。

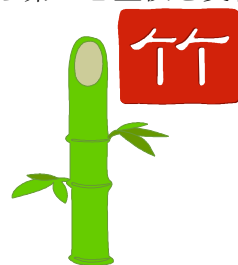
人の人生には浮き沈みがあります。竹にも節があるように人生の区切りとなる節目、節目を大切に、まっすぐしなやかに伸びていきましょう。

また、竹は節目から芽が出て、枝に成長します。このことから節目が大切であることは分かります。

皆さんは、今年1年どんな年にしようと考えましたか？

「一年の計は元旦にあり」と言われていますが、自分は今年何をしたいのか、何をしなければならないのか、何ができるのかをよく考えて、「今年こそは」と新しい年への決意と目標をもって取り組んでいきましょう。」といった内容を伝えたかったです。

生徒の皆さんは、まずは3学期の目標を達成できるよう一日一日を大切に過ごしていきましょう。私たち学校職員や家族の皆さんと一緒に、生徒の皆さんの目標達成のために励ましや声かけ、アドバイスなどのサポートで、皆さんの力が最大限に発揮できる環境をつくっていきたくて考えています。



新年から感謝の声

令和7年の新年を迎え、3学期が始まりました。学校には地域の方々より、生徒の様子など様々な感想やご意見をいただく機会があります。中でも、重富中学校の生徒にお褒めの言葉を頂いた2件の出来事を紹介します。

○11月に白銀橋付近でバイク事故を起こした男性より、事故を起こした際、男子生徒3人と女子生徒1名が駆け寄ってきて、女子生徒は「大丈夫ですか？」と声をかけてくれ、男子生徒は大型バイクを起こして安全な場所に移動してくれた。大変頼もしく、嬉しかったと直接来校され話をされました。

○冬休みに電車に乗っていた男子生徒が、乳母車を引き、子供を3人連れた母親の方に率先して席を譲っていた姿を見た方から、「素晴らしい行動をとる中学生でした。」と電話を頂きました。地域で重富中の生徒が行った行為にお褒めの言葉をいただけるほど嬉しいことはありません。改めて、重富中学校はいい生徒が通っている中学校だと感じる出来事でした。令和7年も「愛され、応援される重富中」を目指していきたくて思います。